

住宅の品質・耐久性向上と外壁通気構法

目次

1. 通気構法の必要性和概要	1
1.1 今なぜ通気構法が必要なのか	1
1.2 断熱化に伴う深刻な壁体内結露の弊害	1
1.2.1 壁体内結露発生のメカニズム	2
1.2.2 室内の水蒸気の発生源	2
1.3 壁体内結露防止と通気構法	3
2. 外壁通気構法の仕組み	4
2.1 住宅の品質法と雨水の浸入、劣化の低減	4
2.2 外壁通気構法と湿気の排出性能	4
2.2.1 外壁通気層の湿気排出に関する評価	5
2.2.2 外壁通気層の湿気排出量の評価結果	10
2.3 湿気排出の効果	11
2.3.1 壁体内の発生水分量の評価	11
2.3.2 外壁通気層の水分排出性能評価	12
2.3.3 湿気排出の効果	16
3. 外壁通気構法の基本	17
3.1 一般的納まり	18
3.2 下地防水の基本	18
3.3 通気の吸排気口の確保	20
4. 下地の構成	21
4.1 通気胴縁の必要釘保持力と材厚	21
4.1.1 想定風荷重	21
4.1.2 各胴縁の設計釘保持力	23
4.2 通気胴縁の必要釘保持力と材厚	24
5. 通気構法の各部の納まり	26
5.1 胴縁の施工	26
5.2 各部の納まり	26
6. 添付資料 防水関連部材の試験方法	29